

平成〇〇年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	専修大学	職名	大学院文学研究科日本語日本文学 先行	助成金額	20 万円
氏名	邢天竹 印	メールアドレス	Xingtianzhu2008@yahoo.co.jp		
研究課題（申請書に記入した内容を記入すること。）					
中国北方方言の韻律的特徴と日本語学習への転移 —北京方言と東北方言を母語とする学習者について—					
助成金使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>今年せせらぎ助成金のおかげで、海外での発表 2 回参加しました。第 1 回目は 2016 年 9 月 9 (金)・10 (土) にバリ島で行われた日本語教育国際研究大会 ICJLE2016 に参加し、ポスター発表をしました。題目は二言語二文化を背景とする日本語教員の必要性—少数民族を擁する大学の場合—です。</p> <p>第 2 回目は、2016 年 11 月 19(土)・20 (日) に香港の公開大学で開かれた第 11 回国際日本語教育・日本研究シンポジウムで口頭発表をしました。題名は日本語アクセント習得における中国東北方言の声調の影響についてです。</p> <p>助成金はすべて研究発表のために使用しました。心から感謝しています。この助成金のおかげで、勉強に集中できるようになりました。これからも引き続き頑張っていきたいと思います。また、よろしくお願いいたします。</p>					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)		
1、邢天竹	1、二言語二文化を背景とする 日本語教員の必要性 —少数民族を擁する大学の場合—	1、本語教育国際研究大会 ICJLE2016	1、論文集はありません。		
2、邢天竹	2、日本語アクセント習得における 中国東北方言の声調の影響について	2、第 11 回国際日本語教育・日本研究シンポジウム	2、2017 年出版する予定(論文は 2017 年 1 月 31 に締め切り)		

(管理番号:)